

# 行動形成法ワークショップ 実施の趣意書

## 医療・福祉・他者援助の関係者の皆様

謹啓 時下、益々のご清栄の段、心よりお慶び申し上げます。

この度、別紙にありますように「行動形成法ワークショップ」を沖縄・宜野湾市にて開催させていただくこととなりました。下記の趣旨にて、ここに関係の皆様にお知らせすると共に、ぜひご関心のある方々のご参加をお誘い申し上げます。

### 行動形成法・沖縄ワークショップ実行委員会

委員長 友利寛文（那覇市立病院外科部長）

顧問 保坂 隆（聖路加看護大学臨床教授）

講師 品川博二（日本ケア・カウンセリング協会代表理事）

### 記

行動形成ロールプレイ法（以下、行動形成法という）は、最新の脳科学の知見に基づき、認知行動療法とナラティブ・アプローチとのコラボレーションとしての、集団行動変容の技法です。この度の宜野湾市でのワークショップの開催で、沖縄でご活躍の多くの医療・福祉の臨床家の皆様・広く対人援助に携わる皆さまに、そのコンセプトとスキルをお伝えできれば幸いです。

行動形成法の最大の特徴は、「脳と心の良い関係」を構築することにあります。最新の脳科学の知見では、DLPFC（前頭前野背外側部）の機能低下が扁桃体の過剰興奮を誘発し、もって不安・抑うつ状態に私たちを陥らせることが知られています。行動形成法は、自己効力感（Self-efficacy）が成立していながら、何故か行動が抑制されている問題解決行動に着目します。この行動から自動思考を誘導し、私たちが無自覚に学習した不安抑うつの反応パターン（スキーマ schema）を、再び、他者との肯定的相互性で再体制化を目ざします。

行動形成法の臨床適用の可能性は、精神科の社会復帰から、自殺企図者の抑止、ターミナル・ケアあるいはグリーフ・ワークへの応用まで広範囲にわたると思われれます。行動形成法の学術的な検証はまだ始まったばかりですが、沖縄でのこの機会に関係の皆さまのご参加をお待ちいたします。

以上

## 行動形成法ワークショップ・募集要項

～ 脳と心の「よい関係」をめざして ～

- 、目的： 脳科学の基礎の下、認知行動療法とナラティブ・アプローチのコラボレーションとしての行動形成法ロールプレイ法（以下、行動形成法）を体験的・集中的に学ぶ。
- 、方法： 行動形成法の理論と体験学習
- 、日程：2012年10月6日（土）18時～7日（日）15時
- 、会場：健康文化村 カルチャーリゾート・フェストーン  
沖縄県宜野湾市真志喜3-28-1 098-898-1212  
路線バス「コンベンション・センター前」徒歩5分
- 、募集対象： 以下の～のいずれかに該当する方。  
医療・福祉・教育他、その他の対人援助に関わっている方  
ターミナル・ケアにご関心を持つ方。  
集団における行動変容にご関心をもつ方。

- \* 参加にあたり、特別の専門知識は不要です。
- \* 他の参加者のプライバシーにはご配慮ください。
- \* 定員（30名）に達し次第、締め切ります。

- 、講師： 品川博二 日本ケア・カウンセリング協会代表理事 / 臨床心理士
- 、参加費： ￥24000、（研修費、宿泊費・1泊3食）
- 、お申込み： 下記の事務局までメールかFAXあるいはお電話でお申込みください。  
（日本ケア・カウンセリング協会HPでのお申し込みが最も迅速です）

\* 沖縄ワークショップ・実行委員会 委員長 友利寛文（那覇市立病院外科部長）  
顧問 保坂 隆（聖路加看護大学臨床教授）

\* NPO法人日本ケア・カウンセリング協会

〒112-0013

東京都文京区音羽1-6-8音羽マンションズ1F

TEL & FAX 03-6912-2605

E-mail: [npo-jcca@npojcca.org](mailto:npo-jcca@npojcca.org)

HP: <http://www.npojcca.org>

以上

